

環境調査結果のお知らせ

平成30年2月27日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温17~18℃、塩分31~34、溶存酸素量7~10mg/lでした。
透明度は2~5mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温13.1~14.3℃、塩分33.3~34.7でした。
前回調査時(H30.1.29)と比較して、水温は2m層から底層で0.1~0.3℃下降しました。塩分は全層で0.1~0.2低下しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量8.5~9.5mg/lでした。
前回調査時(H30.1.29)と比較して、溶存酸素量は全層で0.9~1.2mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は7.5~10.5mでした。
検鏡の結果、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

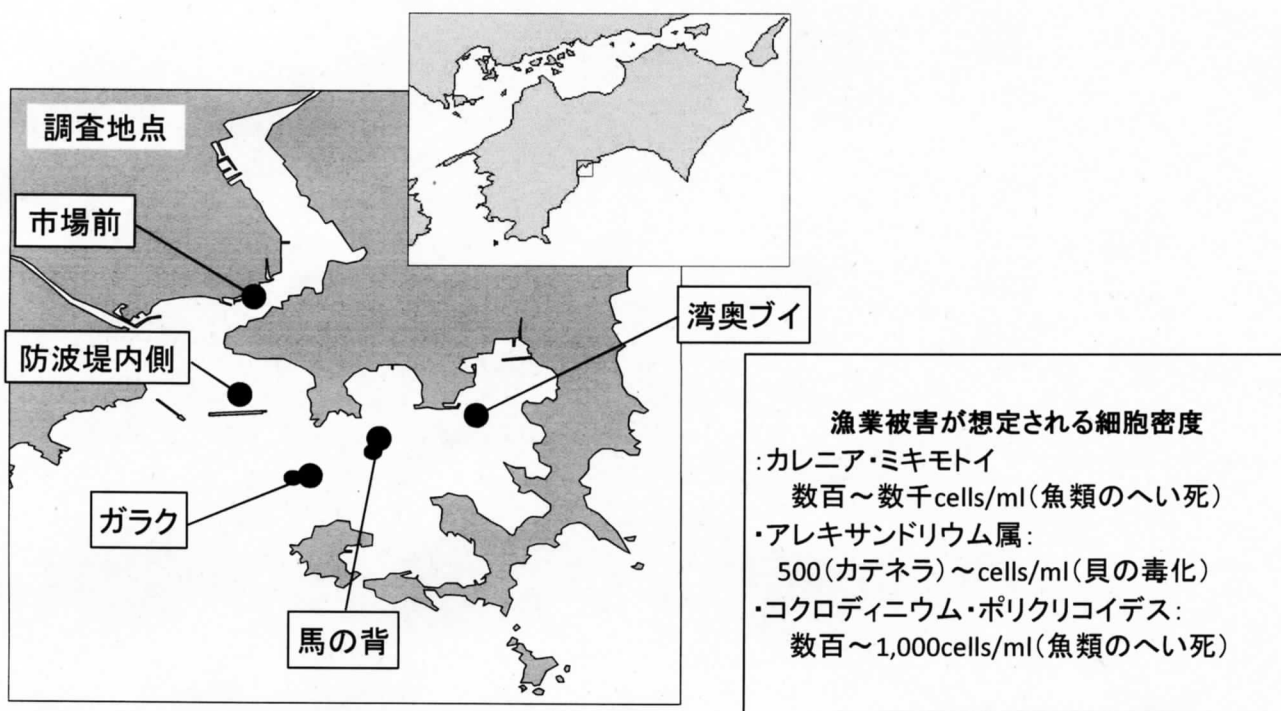


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.1.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	13.6	14.3	14.3	13.1	14.1	14.1	0.0	13.4
2m	13.6	14.2	14.3	13.1	14.0	14.1	▲ 0.1	13.4
5m	13.6	14.1	14.3	13.2	14.0	14.1	▲ 0.1	13.6
10m	13.6	13.8	14.3	13.5	13.9	14.1	▲ 0.2	13.6
B-1m	13.6	13.4	14.1	13.5	13.7	14.0	▲ 0.3	13.6

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.1.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	34.7	34.6	34.7	33.3	34.7	34.8	▲ 0.1	34.2
2m	34.7	34.6	34.7	34.3	34.7	34.8	▲ 0.1	34.2
5m	34.6	34.6	34.7	34.4	34.7	34.8	▲ 0.1	34.5
10m	34.6	34.6	34.7	34.5	34.7	34.8	▲ 0.1	34.6
B-1m	34.7	34.6	34.7	34.6	34.6	34.8	▲ 0.2	34.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均※	前回調査(H30.1.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	9.4	9.0	8.9	9.0	9.1	8.2	0.9	8.8
2m	9.5	9.2	8.9	9.1	9.2	8.1	1.1	9.0
5m	9.5	9.2	8.8	9.1	9.2	8.0	1.2	9.1
10m	9.2	9.2	8.7	9.2	9.0	7.9	1.1	9.2
B-1m	9.0	8.8	8.5	9.1	8.8	7.8	1.0	9.2

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	16.8	24.3	15.4	16.0	12.0
透明度	8.0	9.0	7.5	10.5	8.5
前回(1/29)	6.0	11.0	10.0	5.0	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	アレキサンド リウム属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サングイネア	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	2	50
	2m	0	0	2	1	80
	5m	0	0	0	1	100
馬の背	0m	0	0	0	0	150
	2m	0	0	0	2	200
	5m	0	0	0	3	180
ガラク	0m	0	0	0	1	250
	2m	0	0	0	0	100
	5m	0	0	0	0	50
津波防波堤 内側	0m	0	0	0	0	5
	2m	0	0	0	1	60
	5m	0	0	0	2	150
市場前	0m	0	0	0	1	0
	2m	0	0	0	0	10
	5m	0	0	0	0	10